【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2005-97586(P2005-97586A)
【公開日】平成17年4月14日(2005.4.14)
【年通号数】公開・登録公報2005-015
【出願番号】特願2004-247247(P2004-247247)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｊ　9/10
　Ｃ０８Ｋ　3/22
　Ｃ０８Ｌ 101/00
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｊ　9/10　ＣＥＲ
　Ｃ０８Ｊ　9/10　ＣＥＺ
　Ｃ０８Ｋ　3/22
　Ｃ０８Ｌ 101/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月13日(2005.7.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発泡性ポリマー、発泡剤、塩基性酸化物、および、有機過酸化物を含み、
　前記塩基性酸化物が、前記発泡剤１００重量部に対して、０．０５～７０重量部配合されていることを特徴とする、充填発泡用組成物。
【請求項２】
前記発泡剤が、スルホニルヒドラジド化合物または／およびアゾ化合物を含むことを特徴とする、請求項１に記載の充填発泡用組成物。
【請求項３】
発泡性ポリマー、発泡剤および塩基性酸化物を含み、
　前記塩基性酸化物が、前記発泡剤１００重量部に対して、０．０５～７０重量部配合され、
　前記発泡剤が、スルホニルヒドラジド化合物または／およびアゾ化合物を含むことを特徴とする、充填発泡用組成物。
【請求項４】
前記スルホニルヒドラジド化合物が、４，４’－オキシビス（ベンゼンスルホニルヒドラジド）であり、前記アゾ化合物が、アゾジカルボンアミドであることを特徴とする、請求項２または３に記載の充填発泡用組成物。
【請求項５】
請求項１～４のいずれかに記載の充填発泡用組成物と、前記充填発泡用組成物に装着され、中空部材の内部空間に取り付け可能な取付部材とを備えることを特徴とする、充填発泡部材。
【請求項６】
請求項１～４にいずれかに記載の充填発泡用組成物を発泡させることによって得られることを特徴とする、充填用発泡体。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するため、本発明の充填発泡用組成物は、発泡性ポリマー、発泡剤、塩基性酸化物、および、有機過酸化物を含み、前記塩基性酸化物が、前記発泡剤１００重量部に対して、０．０５～７０重量部配合されていることを特徴としている。
また、本発明の充填発泡用組成物は、前記発泡剤が、スルホニルヒドラジド化合物または／およびアゾ化合物を含むことが好適である。
また、本発明の充填発泡用組成物は、発泡性ポリマー、発泡剤および塩基性酸化物を含み、前記塩基性酸化物が、前記発泡剤１００重量部に対して、０．０５～７０重量部配合され、前記発泡剤が、スルホニルヒドラジド化合物または／およびアゾ化合物を含むことを特徴としている。